



たくましく、大きくなって帰って来い！

1学期最後の日を迎えました。生徒の皆さんの「礼節」「勉学」「錬磨」「勤労」の4つの種子はどれくらい育ったのでしょうか。1年生は、初めてのことばかりで必死だったと思いますが、教科担任の授業にも慣れ、心尽清掃もてきぱきとこなせるようになりました。2年生は、体も大きくなり、上級生になった自覚と意欲をもって日々の学校生活を過ごし、大きな成長を感じます。3年生は、最上級生となり、授業の様子や一つ一つの行事、生徒会活動や部活動での様子に、リーダーとしての言動が見られて頼もしさを感じています。



さて、いよいよ待ちに待った夏休みがやってきます。夏休みの40日を充実させるためには、**目標とスケジュールの管理**が大事です。40日は長いようで短いです。時間に対する人間の感覚はいい加減です。ダラダラと過ごしてしまうと身体は休めたとしても、やろうとされていてできなかった不安がどんどんつものります。ですので、2学期に向けて活力を養うためには、節度ある行動をとり規則正しい生活を送ることがまず大事です。「勉学」においても、宿題や課題はさっさと終わるように。まずは、全ての宿題・課題に目を通し、7月中にはここまで、8月10日までにはここまでと決めて、8月19日の出校日を迎えること。締め切りまでに提出することが大事です。分からないところは教えてもらっているのです。それよりも、長期の休みを使って「探究」の学びに取り組んでほしいのです。自分の興味のあることを深掘りしてみる。「なぜだろう」「不思議だな」という問いをもち、図書館や博物館、野山を歩き回って、行って見て、調べてみて、作ってみて。ダイナミックに身体を動かして学んでください。「たくましい」という言葉には、頑丈で、意志が強く、多少のことではくじけない、やる気に満ちあふれているという意味があります。誰にでも弱い部分があります。弱い自分に打ち勝つためには、正直に自分の弱さを見つめて受け入れること。強がってはダメ。自分に嘘をついてはダメ。怠けそうになったとき、くじけそうになったとき、「負けるな」「がんばろう」と言ってくれる「もう一人の自分」を自分の中に育てて、自分で決めたことを最後までやり遂げる。「誠実」とであるということはそういうことです。誰も見ていないところでも、自分を裏切らない行動がとれること。「お天道さまが、見ちよいやっど！」

「**礼節**」：気持ちのよい挨拶を家庭や地域でも実践。友達との真の友情を深めるとともに、家族にも、感謝の気持ちを言葉や行動にあらわそう。

節度ある言動でルールを守り、規則正しい生活を送ろう。

「**勉学**」：学校から与えられた夏休みの課題をなるべく早く片付けて、自分の「おもしろそうだな」「不思議だなと思うこと」など好奇心旺盛に、問いをもって粘り強く探究しよう。机に向かってするだけが学びではない。自然の中で、体験活動を通して五感で学ぼう。土や水に触れて元気に学ぼう。

「**錬磨**」：ラジオ体操へ参加するなど、時間をみつけて継続して体を鍛える。

また、虫歯の治療など病院に行って体の不調なところを治療しよう。

「**勤労**」：掃除、洗濯、料理など、自分でできることは自分で行い、家族の一員としての役割を果たそう。

また、地域での清掃活動やボランティア活動なども機会があったら進んで参加しよう。

夏休み期間中の主な行事

- 7月22日（金）第57回「夏の祭典」（吹奏楽部出場）
7月22日（金）、23日（土）第23回県中学校演劇フェスティバル（演劇部出場）
7月22日（金）～7月29日（金）県中学校総合体育大会（陸上部、野球部、剣道部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、男子ソフトテニス部、バドミントン部、水泳、硬式テニス、新体操）
7月25日（月）～8月9日（火）3年生三者面談（※学級によって日程が異なる場合があります。）
7月26日（火）中学校生徒弁論大会（2年芝崎楽さん出場）
7月28日（木）第67回鹿児島県吹奏楽コンクール（吹奏楽部出場）
8月19日（金）出校日
8月21日（日）6:30～8:30 親子ふれあい奉仕作業

8月13～15日、学校閉庁を実施します。

今年も、8月13日～15日は、鹿児島市教育委員会では、鹿児島市立のすべての小・中・高等学校において学校閉庁を実施します。目的は、学校閉庁を実施することにより、学校職員の計画的な休暇取得等を促進し、学校職員の健康の保持・増進、心身のリフレッシュを図るということです。この3日間は、生徒の登校及び部活動並びに事務室業務等は行いません。また、学校施設等の開放も停止します。御理解と御協力をよろしくお願いします。

デジタルドリル「navima（ナビマ）」が導入されました。

この7月から、全ての市立小中学校に、デジタルドリル「ナビマ（navima）」が導入されました。このドリルは、算数・数学、国語（漢字、読解）、英語、理科、社会の5教科に対応しており、小学校から中学校3年生までのドリルコンテンツが60,000問以上掲載されています。児童生徒が、取り組みたいところから自由に問題を解くことができ、自分でどこができていて、どこができていないのかを確かめることができます。また、解説の動画を見ることもでき、児童生徒が自分のペースで学習を進めることができるようになっています。早速、学校でも取り組み始めています。このナビマは、インターネットに接続できれば、どの端末からでも取り組むことができますので、夏休み中に家庭でも取り組んでほしいと思います。

- ① インターネットで「まなびポケット」と検索。<https://manabipocket.ed-cl.com/>
- ② 「ログイン」をクリックして、学校コードを入力。
- ③ 自分の県域アカウントとパスワードを入力

「ナビマの概要」

<https://solution.toppan.co.jp/education/service/navima.html>



1年生「吉野・寺山について学ぶ」

1年生の総合的な学習の時間では、「郷土を学ぶ」をテーマに、探究学習に取り組むこととしています。それぞれが、自分の追究したい課題を設定し、学習方法や進め方も自分で決めて学んでいきます。その取り掛かりとして、7月15日（金）に、植生や文化財にも詳しい寺田 仁志（てらだ じんし）先生に本校においていただき、寺山についての講話をしていただきました。寺田先生は、「吉野」という地名は、「いい野原」という意味ですよ、というお話からスタートされ、薩摩藩の馬を放牧する牧場（まきば）が寺山にあったこと、令和元年7月に土砂災害によって破損してしまった世界遺産「寺山炭窯跡」の周囲を、どんぐりの木を植えて再生しようとする「寺山の森再生プロジェクト」が進んでいること、明治維新の原動力となった磯の集成館の反射炉で、大砲などの材料となる鉄を溶かすための燃料として「白炭」が使われ、その木は、寺山のアラカシやスタジイなどの木が使われたこと、兵六物語の舞台となった背景など多岐に渡るテーマで吉野や寺山について話してくださいました。生徒たちも、熱心にメモを取りながら聴いていました。今後、夏休みに各自で探究を進め、テーマを絞っていきます。



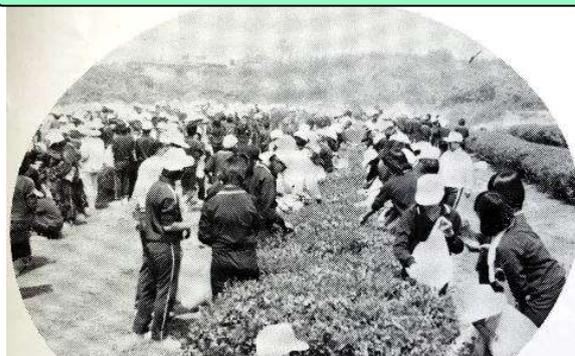
表彰・生徒の活躍

- 第68回全日本中学校通信陸上競技大会
男子1年 1,500m走 第7位 1年 中森 楽稀 記録4分50秒12
女子共通走幅跳 第8位 2年 堀切 琳心
男子3年 100m走 第3位 3年 二田 永遠 記録11秒36
男子共通 200m走 第4位 3年 二田 永遠 記録23秒47
- 吉野中学校図書館 多読賞 80冊 1年5組 永里 桜雅
- 吉野中学校図書館 貸出トップ賞 1年5組 713冊

抱え込まずに相談を！相談窓口案内

- かがしま教育ホットライン（24時間電話相談）
0120-0-78310（全国統一フリーダイヤル）
0120-783-574（固定電話用フリーダイヤル）
- その他相談窓口の案内
https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku-bunka/school/shidou/shido/soudan_annnai.htm

40年の歩み ある日の風景



開校当時の寺山での茶摘み